

家康公の学ぶ力



岡崎信用金庫 会長
岡崎商工会議所 会頭
一般社団法人徳川家康公に学ぶ会 代表理事

大林 市郎 氏

教育随想

月報 岡崎の教育



令和5年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想…………… 1
 岡崎信用金庫 会長
 岡崎商工会議所 会頭
 一般社団法人徳川家康公に学ぶ会 代表理事
 大林 市郎 氏

この人に聞く…………… 2
 デフリンピック2022 ハンマー投げ
 金メダリスト 石田 考正 氏

羅針盤…………… 2
 国語科指導員 山盛 誠治

ふれあい…………… 3
 羽根小学校
 教諭 夏目 恵佑

特集…………… 4
 1年のあゆみ

お知らせ…………… 6

フォト・ヒストリー…………… 8
 生平ふるさとカルタ取り大会(平成4年)

この本を…………… 8

徳川家康公は「好学大名」として知られている。藤原惺窩などの学者から熱心に講義を受け、読書を好んだ。活字出版にも取り組み、金沢文庫など蔵書も充実していた。

しかしながら、「好学大名」という言葉には「趣味としての学問好き」というニュアンスが含まれる。家康公の学ぶ姿勢は決してそのようなものではなかった。

古代中国や日本の政治史、浄土宗など仏教の教え、大航海時代の世界情勢など、関心分野は大変に幅広かった。

真剣に学んだ結果は、大御所時代の統治政策や対外政策など随所に表れた。多彩な人材を自在に活用できたのも、家康公に広範な知的バックボーンがあったからだ。さらに、リーダーの心構えや政治の在り方についての考え方は江戸期を通じて武士社会の精神的支柱となった。

家康公の知的好奇心と積極姿勢は外交面に端的に表れている。

オランダのリーフデ号が九州に漂着したとの報告を受けると、ウィリアム・アダムス(後の三浦按針)とヤン・ヨーステンを伏見城に呼び自ら面談した。長時間にわたり熱心に世界情勢をヒアリングした。

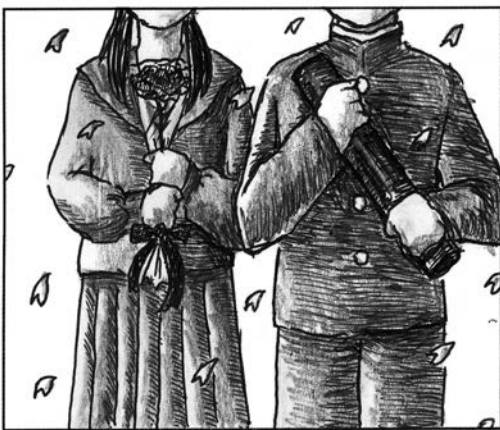
朝鮮の松雲大師(惟政)が捕虜の返還を求めて来日した時も謁見し、朝鮮との国交回復に道筋をつけた。

当時は大航海時代の後期。日本にとって大きなチャンスであると共に、欧州諸国の脅威が迫っていた時代でもあった。家康公は強い目的意識で全方位外交を展開したのである。

時代は下って幕末。通商を求める欧米諸国に対し国論は沸騰していた。幕府は俊秀の旗本を外国奉行に任命して開国に踏み切った。

しかしながら、当時の老中たちは自ら外国使節と面談して交渉することを極端に嫌い、かつ恐れ、全て外国奉行に押し付けた。

こうした幕末の世襲大名の有り様を見るにつけ、深く学びながら自ら



時代を作った家康公の姿が際立つ。私たちは一般社団法人「徳川家康公に学ぶ会」を運営し、「家康公検定」や「ジュニア家康公検定」を実施している。

岡崎の子供達が、家康公の生涯を学ぶことを通じて未来にチャレンジしていくことを期待したい。

(おおばやし いちろう)



あきらめないで方法を考える

デフリンピック二〇二二 ハンマー投げ

金メダリスト 石田 考正氏

「ハンマー投げを始めたくっかけを教えてください」

高校二年生のときに、テレビにハンマー投げの室伏広治選手が出ていました。父親から「アジアの鉄人と呼ばれた人の息子で、すごい選手だよ」と聞かされました。私は室伏選手が遠くまでハンマーを投げる力強さに憧れ、この競技を始めました。――**競技者としての苦労やつらかったことは何ですか**――

私は生まれつき耳が聞こえないので、それが常でつらいと感じることはありません。会話は、筆談や手話でできますし、日常生活で困ることもほとんどありません。

でも、スポーツのことになると話は別です。健常者は、試合中でも動きながら声で指導を受けられるので、体感でつかめる情報量がとても多い

です。一方、聾者は、投げた後に筆談で指導を受けるので、分りにくい部分が多いです。筆談には時間がかかり、試合にも集中できなくなり、リアルタイムでのコミュニケーションが取りづらく、遠慮して聞くことができないときもあります。

また、ハンマー投げは危ない競技なので、一人で練習できる場所は限られます。練習場所の確保が大変で、一度競技をやめました。幸いにも、デフリンピックに出場した仲間から声を掛けられ、練習場所の提供を受けて、もう一度ハンマー投げに挑戦することにしました。その後も、競技を続けてきましたが、三年前の新型コロナウイルスの流行で、またもや練習場所を失いました。自分の力だけではどうにもならない現実に向かい、もどかしくなりました。

――**どのようにして苦労を乗り越えてきたのですか**――

練習場所を失うことは、競技者にとって、とても大きな問題です。コロナ禍で練習場所を失ったときは、デフリンピックに向けて、意欲に燃えていただけに落ち込み、あきらめた方がいいのかとも思いました。しかし、投げることでできないハンマーを見ていると、どうしても投げたくなくなります。何とかしたくなり、私は、今できることをするしかない、あきらめずに方法を考えました。ハンマー投げで大切なことは、筋力をつけることです。次に投げるときに、一回り大きくなった自分に

なるために、筋力をつけたいと考え、家にジムを作りました。これで、いつでも練習できる環境が整いました。パワーアップに励むことで、自信へと変えていきました。

困難に直面したとき、多くの人は、人に尋ねて教わります。ですが、「人に聞く」ことは私にとって簡単なことではありません。だから、「ハンマーを投げたい」という一心で、方法を考えてきました。練習の仕方、心の落ち着かせ方、冷静な判断の仕方を考えることで答えが見えてきます。ハンマー投げは私に、問題への向き合い方を教えてくれました。

――**今後挑戦したいことは何ですか**――

二〇二五年に東京でデフリンピックが開催されます。まずはそこで二連覇し、世界記録も出したいです。最終目標は、健常者と互角に戦える選手になることです。私が手本を示すことにより、後輩たちに選手になる夢を与えたいと思っています。

また、私は働しながら競技ができる会社を見つけることに、本当に苦労しました。だから、後輩のためにも、働しながらスポーツができるような環境を少しでも整えていきたいです。自分の経験を基にした、聾者の指導書も作りたいです。



氏名 いしだ たかまさ
生年月日 昭和六十一年十一月五日
住所 岡崎市鴨田町



叙述を基に、考えを深めていく

国語科の授業を目指して

国語科指導員 山盛 誠治

「太一が『瀬の主を殺さないですんだ』のは、誰の影響がいちばん大きかったからでしょうか。」

小学六年「海のいのち」の授業における、A教諭の発問である。

この作品は、幼くして父を亡くした太一が、周りの人々とのつながりの中で、海に生きる一人の人間として成長していくさまを描いている。本時まで子供は、人物関係図の作成を通して太一と父、与吉じいさ、母とのつながりを考えてきた。「山場」の読み取りである本時、太一の心情の変化と登場人物との関係に子供の意識が向いたとき、A教諭はこのように発問した。個々の影響の違いを比較して考えることが求められるこの発問に、子供は戸惑い、教室にざわざわ感が満ちた。しかしこのざわざわ感が、次第にグループでかわり



「できた」を積み重ねて

羽根小学校

教諭 夏目 恵佑

「さあ、行くよ。」

その声をかけ、背中を押す私の手をAさんの背中が頑なに押し返す。静かな廊下には、授業開始の元気な挨拶が響き渡る。しかし交流学級に向かうAさんの足取りは、鉛の靴を履いているかのように重かった。

私は今年、特別支援学級の担任になった。そこで出会ったAさんは、不安や心配があると動けなくなってしまう。行事の時は特に支援が必要だと、前担任から聞いていた。

五月、運動会の練習が始まった。「三年生はソーラン節と綱引きだよ」とAさんに伝えると、「やった。ソーラン節はもう踊れるよ」と目を輝かせた。昨年まで、練習に参加できなかったAさん。興味をもったソーラン節を通して、行事に対する不安を少しでも克服してほしいと願った。

練習初日、「構え」の号令と共に、ソーラン節の力強い音楽が運動場に鳴り響く。しかし、Aさんは指揮台

を見つめたまま立ち尽くした。隣で私が手本を見せても見向きもしない。表情はみるみる険しくなり、拳をぎゅっと握りしめる。曲が止まると、Aさんは列から飛び出し、木陰に座り込んだ。私はAさんの元へかけ寄り、どうしたのかを尋ねた。だがAさんは拳を握りしめたままだった。

教室で、再び理由を尋ねると、「途中で踊りが止まるから」とつぶやいた。私は、はっとした。Aさんはソーラン節を一曲通して踊るものだと思っていたのだ。初めてのことが苦手と聞いていたのに、私は何の手も打たずに練習に参加させていたのだ。

少しでもAさんの不安を減らすには、見通しをもつことが必要だ。次の日から練習の内容を確認し、その日に踊る部分を朝一番に伝えた。

「構えはこれでいいの。」
「そう。姿勢が低くてかっこいいよ。」
「どっちの手から出すの。」

「いつも右が先だよ。」
毎朝、わからないことを一つずつ確かめ、向かい合って一緒に踊った。

下見の会の日、法被に袖を通すとAさんにはっこりした。これなら大丈夫と思ひ、私は後ろから踊りを見守ることにした。だがその日も、Aさんは法被の帯を握りしめ、立ち尽くした。かけ寄って声をかけたが反応はない。結局、何もしないまま下見の会は終わってしまった。

どうすべきだったのか悩む私に、「みんなが見てて、間違えるのが嫌

だった。もつと教室で練習したい。」と、Aさんは自ら申し出た。Aさんはまだ自分の踊りに自信がなかったのだ。しかし、木陰でうつむいていた以前のAさんと違い、自らの力前に進もうとするAさんを感じた。

それからは、朝に加え、休み時間にも練習をした。他の先生や友達に見てもらい、動画を撮って確認した。「みんなが見ていてもできたね。」
「手がびんびんに伸びているね。」
「最後まで止まらずにできたね。」
自信につながることを信じ、小さな「できた」を積み重ねた。

運動会の朝、いつも通り教室で練習を行い、今日の流れを確認した。私が期待と自信を込めてAさんの法被の帯をきゅっと結ぶと、
「ありがとう。行ってきます。」
Aさんはそう言って運動場に向かっていた。私が背中を押さなくても、足取りは軽やかだった。



合おうとする「熱」へと変わっていく。

読み取りの足跡が記された「一枚プリント」を見つめ直し、追究する子供。それぞれの考えを伝え、その根拠が納得できるものを叙述から吟味する子供。各グループの現状をとらえて問い返したり、称賛したりして支えていくA教諭。そこには、みんなが納得解を導き出そうと取り組む、協働的な場が築かれていた。

「やっぱり、一人には決められない。」
「いちばん」という条件で追究したことで、一人の人間の成長には多くの人の影響があるということについて実感する姿を見せた。「やっぱり」には、叙述を基に考えを深めていったという子供の思いがこもっていた。

「国語って、めちゃくちゃ楽しい。」
授業後、そう言いながら教室を出ていった子供の姿が印象的だった。

同じ叙述を根拠にしても、そこから生み出される考えには、それぞれの子供の見方や考え方が反映される。それらの考えをかわらせる発問は、子供にかかわり合うことの楽しさとともに、学びの充足感ももたらす。

教材の価値と目の前の子供の思考の流れを意識し、叙述から個々の見方や考え方を引き出す発問やかかわり合う場を作り出せるよう、教材研究と授業作りを積み重ねていきたい。



▲第56回全国野生生物保護活動発表大会 環境大臣賞 河合中



▲第30回全国中学校駅伝大会 男子の部 出場 矢北中



▲CBC こども音楽コンクール中部日本決勝大会 小学校声楽部門(合唱) 最優秀賞 三島小

Table with 10 columns: 賞状種別, 受賞者, 学年, 性別, 所属校, 賞状内容, 賞状理由, 賞状日, 賞状場所, 備考. Contains details for various awards like environmental protection, sports, and music.

Table with 10 columns: 賞状種別, 受賞者, 学年, 性別, 所属校, 賞状内容, 賞状理由, 賞状日, 賞状場所, 備考. Contains details for various awards like school activities, regional events, and national contests.



最新情報

◆令和五年度研究発表表校

令和五年度の研究発表表校の研究主題と公開する授業の教科・領域等は次のような予定となっている。各校の研究の成果から多くのことを学ぶ機会としたい。

○矢作北小学校 (国語科)

(市委嘱研究発表表)

・十月十八日(水)

【研究主題】

生きて働く言語能力を育む国語教育の創造

「感受・創造・交流」の側面から展開する国語科授業を通して

○北中学校 (全教科)

(市委嘱研究発表表)

・十月二十五日(水)

【研究主題】

自立的に生きるための資質・能力を育む教育の創造

「心理的安全性を確立したチーム学習を通して」

○六ツ美北部小学校 (全教科)

(市委嘱研究発表表)

・十一月一日(水)

【研究主題】

自立的に生きようとする六北っ子の育成

「よつば学習」を通して

○新香山中学校 (全教科)

・九月十三日(水)

【研究主題】

E・S・Dの6つの視点で働きかけ、持続可能な社会を創ろうとする生徒の育成

「総合的な学習の時間を中心とした、「何を学び・どう学び・何ができるようにするか」を明らかにした学習展開」

○愛知教育大学附属岡崎小学校

第74回生活教育研究協議会

・十一月十六日(木)～十七日(金)

○愛知教育大学附属岡崎中学校

第52回生活教育研究協議会

・六月二十日(火)

○愛知教育大学附属特別支援学校

第54回特別支援教育研究協議会

・十一月十日(金)

◆令和五年度全国学力・学習状況調査の中学校英語「話すこと」調査がオンライン方式に

令和五年度全国学力・学習状況調査において、中学校英語「話すこと」調査をオンライン方式で実施する。各生徒の端末から「学びポケット」にログインし、ネットワークを通じてオンラインの音声録音方式で実施する。

ただし、ICT環境が各校において様々であることから、令和五年度については、特例措置として「話すこと」に関する調査結果は、文部科学省から指定された「当日実施校」(全国五百校)の結果から推定される全国値のみの公表となる。

本市においては、「期間内実施校」として、中学校英語「話すこと」調査を四月十九日から五月十七日の中で実施することとなる。

◆読書感想文・読書感想画コンクール表彰式

令和五年一月二十七日(金)、岡崎市総合学習センターの多目的ホールにて、第五十八回岡崎市小中学校読書感想文・

読書感想画コンクール表彰式が行われた。ここ二二年間は、新型コロナウイルス感染症対策として、表彰式を行わなかったため、三年ぶりの開催となった。

市長賞三名と、市議会議長賞三名、南ライオンズクラブ会長賞三名と教育委員会賞の代表者一名が参加し、表彰された。

表彰式の後には、代表者の読書感想文と読書感想画が披露された。

市長賞三名と、市議会議長賞三名、南ライオンズクラブ会長賞三名と教育委員会賞の代表者一名が参加し、表彰された。

市長賞三名と、市議会議長賞三名、南ライオンズクラブ会長賞三名と教育委員会賞の代表者一名が参加し、表彰された。

市長賞三名と、市議会議長賞三名、南ライオンズクラブ会長賞三名と教育委員会賞の代表者一名が参加し、表彰された。

市長賞三名と、市議会議長賞三名、南ライオンズクラブ会長賞三名と教育委員会賞の代表者一名が参加し、表彰された。



令和4年度 第58回 岡崎市小中学校 読書感想文・読書感想画コンクール 表彰式

市議会議長賞

竜海中 眞野 純寧

常南小 北岡 大和

細川小 大水 元睦

豊富小 榊原エレン

岡崎市教育委員会賞

美川中 金谷みかげ

東海中 稲吉 良

河合中 中田 万森

岩津中 渡邊ひなた

羽根小 金子 采史

羽根小 松本 莉子

六名小 蒲原 翔

六名小 椎葉 心花

竜美丘小 西馬 百香

大樹寺小 品川 凜香

矢西小 鈴木 葉奈

六南小 森 芽衣咲

夏山小 天野 琉衣

附属小 木村 仁勇

○読書感想画

岡崎南ライオンズクラブ会長賞

甲山中 宮下 夏未

岡崎小 山崎 彩花

広幡小 谷川 蒼史

岡崎市教育委員会賞

六ツ美中 萩原 光希

連尺小 稲吉 智香

連尺小 稲吉 智香

井田小 石川さや子

井田小 大無田菜希

○読書感想文

入賞者は以下のとおり。

市長賞

附属中 杉浦 晴充

羽根小 林 侑乃

矢西小 鈴木 葉奈

●表彰関係

井田小 永田 愛実
井田小 本田 萌結
小豆坂小 富谷 奏斗

◆第24回全国中学選抜卓球大会愛知県予選会

○女子団体の部
3位 北中

◆令和4年度愛知県中学校総合体育大会

○スキー大回転

3位 竜海中 田中愛佳理

◆第70回こども音楽コンクール(文部科学大臣賞選考会)

○小学校合唱の部

4位 三島小

◆2022年度愛知県アンサンブルコンテスト県大会

○小学生の部 フルート三重奏

愛知県教育委員会賞

竜美丘小 白石 麻衣

眞鍋 実来

飯田 真優

◆第49回東海アンサンブルコンテスト

○小学生の部 フルート三重奏

優秀賞・朝日新聞社賞

竜美丘小 白石 麻衣

眞鍋 実来

飯田 真優

◆第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール

○技術分野

授業内製作作品部門

入選 南中 小林 大晟

葵中 外村 梨乃

福岡中 谷村 優

◆第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト

○計測・制御部門

出場 福岡中 長網 時生

高村 太一

坂井 力

◆全国明るい選挙啓発ポスターコンクール

○ポスターの部

公益財団法人明るい選挙推進協会会長賞・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞

岡崎小 入江 優希

◆第47回ゆうちよアイデア貯金箱コンクール

○小学校2年生の部

すてきなデザイン・アイデア賞

広幡小 児玉 円花

◆第59回全国児童才能開発コンテスト

○作文部門

文部科学大臣賞(高学年の部)

竜美丘小 加藤 美虹

全国都道府県教育長協議会会長賞

三島小 坂本 琴音

小豆坂小 増永 奨

全国連合小学校長会会長賞

竜美丘小 竹田 湊音

三島小 松永 煌爽

藤川小 村雲 幸助

六南小 佐野 朝音

◆第68回青少年読書感想文愛知県コンクール

毎日新聞社奨励賞

附属中 杉浦 晴充

優良賞

美川中 金谷みかげ

竜海中 眞野 純寧

東海中 稲吉 良

河合中 中田 万森

岩津中 渡邊ひなた

羽根小 金子 采史

羽根小 林 侑乃

羽根小 松本 莉子

六名小 蒲原 翔

六名小 椎葉 心花

竜美丘小 西馬 百香

常南小 北岡 大和

細川小 大水 元睦

大樹寺小 品川 凜香

矢西小 鈴木 葉奈

豊富小 榊原エレン

夏山小 天野 琉衣

◆第34回読書感想文愛知県コンクール

優秀賞(全国へ)

甲山中 宮下 夏未

秦梨小 市橋 佑紳

優良賞(全国へ)

緑丘小 蜂須賀日向

連尺小 稲吉 晴香

広幡小 眞下 悠翔

小豆坂小 伊沢 璃菜

優良賞

竜南中 川越 詩歩

六ツ美北中 重松なずな

美合小 五十嵐彩乃

井田小 松岡 紘生

矢東小 富 旭陽

六南小 太田 桃々

佳作

甲山中 加納 愛子

南中 金子由梨佳

六ツ美中 萩原 光希

美合小 立岩 千瞳

緑丘小 丹羽 花乃

三島小 笠木 美嘉

竜美丘小 松野 栗乃

連尺小 市川 寛郎

小豆坂小 増永 奨

北野小 大西 紗世

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間



・カ
ツ
ト

矢作北小 杉山和泉

生平ふるさとカルタ取り大会 (平成4年)

写真提供：生平小学校



「『よ』なき地藏 むかしの教室 試験場」。写真は、運動場で行われた大判のカルタ取り大会の様子である。

昭和五十三年に「ふるさと学習」として、「生平ふるさとカルタ」が児童によって作られた。平成二十六年に内容を一新し、令和二年には、コロナ禍でも楽しめるようにデジタルカルタが作られた。児童が生平地区のよさを学び、再認識できるカルタ大会は、形を変えつつ本校の伝統的な取り組みとして続いている。

子供がふるさととのよさを感じられる取り組みは、岡崎のそれぞれの学校で、特色ある活動として続いていく。

遠くへと思いを込めたハンマーは、美しい放物線を描き飛んでいく。記録更新を目指して、日々練習を積み重ねる。

これまでの競技者としてのあゆみのすべてを、終始笑顔で語ってくれた石田さん。目の前の壁をいくつも乗り越えてきた自信なのだろう。確かな目標をもち、挑戦し続けてきた精神力に圧倒された。

とホ

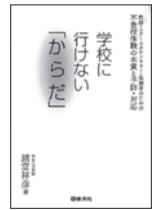
弥生ツ



▲未来へ向けて飛ばす風船(葵中)

つぼみ膨らむ三月初め、体育館から「蜜の光」が響き聞こえる。式後の運動場、将来への願いを込めて風船をやさしく手放す。卒業生と保護者、教員は、小さくなった風船を見守り続ける。

風船は、義務教育を終えて巣立っていく卒業生のように、澄み切った大空へ飛んでいく。それぞれの方向へ。そして高く。



*学校に行けない「からだ」 諸富 祥彦
図書文化社 ￥1,600

心に残った一文

不登校の子の“気持ち”ではなくて、その子の“からだの感じ”と一緒にとどまり、それに寄り添いましょう。

不登校の本質をとらえるキーワードは、『からだ』だと著者は言う。長欠児童生徒の大半は、『からだ』（主観的な身体感覚）の変容によって、いつの間にか自分が、「学校に行けないからだ」になってしまっているのだそうだ。もちろん、子供の気持ち（感情）に寄り添うことは大切だが、それだけでは解決しないという。不登校の予防も対策も一貫して「身体感覚の変容」に着目すべきなのである。

本書は、そういった観点から不登校の初期・中期・長期化における支援策について紹介されている一冊である。

*10歳からはじめるポジティブ習慣 39
中島 輝 ￥1,320
インプレス出版
*グレイッシュ 大島 恵真 ￥1,650
文研出版
*説明の技術 土居 正博 ￥2,090
学陽書房
六ツ美中部小学校 夏目 弘之